



人間福祉学コースはどんなコース？

人間福祉学コースでは高度な専門職の育成を目指します！

人間福祉学コースでは、水準の高い福祉を実現するための理論や実践的技法を修得し、地域の保健・医療・福祉分野のリーダーとして活躍できる社会福祉士（ソーシャルワーカー）と精神保健福祉士（メンタルヘルスソーシャルワーカー）の育成を目指しています。



ソーシャルワーカーはどんな専門職？

ソーシャルワーカーは生活を送る上で課題を抱えた方々にして相談に応じ支援する専門職です！



社会福祉士

生活を送るうえで課題を抱えた方々に対して、専門的な知識や技術を用いて相談に応じ、助言、指導を行う仕事です。福祉サービスを提供したり、医師をはじめとした関係者と連携して支援していきます。

精神保健福祉士

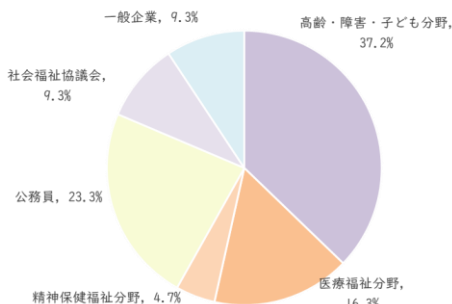
精神障害によって生活上の様々な課題を抱えた方々に対して、専門的知識や技術を用いて相談に応じ、援助、指導、訓練などの支援を行います。



ソーシャルワーカーはどんなところで活躍しているの？

ソーシャルワーカーの活躍の場所は広く多様です！社会福祉の専門職採用で県や市などの自治体に就職する卒業生も多くいます。

R5年度卒業生の就職先



過去5年間の公務員就職者人数

毎年12~25%程度の卒業生が公務員として採用されています。

R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
11	5	7	4	10

ソーシャルワーカーを求める現場は広がっています。

- 【子ども】 児童養護施設、市町村、児童相談所、学校
- 【高齢】 高齢者福祉施設、地域包括支援センター
- 【障害】 障害者相談支援事業所、地域活動支援センター
- 【医療】 病院、精神科病院【地域】 社会福祉協議会
- 【行政】 市町村、家庭裁判所、保護観察所 【一般企業】 銀行 など

社会福祉協議会
(コミュニティソーシャルワーカー)



齋藤綾乃さん
卒業生
福山市社会福祉協議会

病院
(医療ソーシャルワーカー)



上窪ちなみさん
卒業生
中国中央病院

児童相談所
(児童福祉司)



川口仁美さん
卒業生
広島県西部
子ども家庭センター
(児童相談所)

小・中学校での福祉教育や、市内の社会福祉法人の社会貢献活動の活性化支援、福祉・介護人材の確保などの業務を行っています。社会福祉協議会は、行政・福祉関係者・地域のボランティア・企業など、地域の様々な組織とのつながりが強いです。

患者さんやご家族との面談を通して、治療や退院後の生活への不安や困りごとと一緒に解決していけるようお手伝いしています。また、退院後も必要な医療や福祉サービスを継続して利用できるような他職種や関係機関との連携を行っています。

初期対応係という虐待対応のチームでケースワーカーとして働いています。虐待通告があったらリスクを評価し、所内で介入の方針を協議して一時保護や子どもへの面接、保護者への連絡や面接等、必要な対応を行います。専門的な知識が必要で、緊急対応も頻繁にある仕事です。



文系だけど受験できますか？

文系・理系のどちらからでも志望が可能な学問領域です！

一般選抜入試
(前期・後期)

共通テスト3教科 ・国語 (200) 外国語 (200) が必須

・地歴、公民、数学、理科、情報から1教科 (200)

個別学力検査

・総合問題 (200) ・個別面接 (200)

学校推薦型選抜

- ・小論文 (100)
- ・面接 (100)
- ・調査書等 (5)

授業ではどんなことを学ぶの？

資格取得のためのカリキュラムとして講義・演習・実習があります！
また卒業研究ではそれぞれの研究テーマに沿った調査等を行います。

卒業研究に取り組み、4年間の学びを終え卒業式を迎える。



他キャンパスや他コースの学生とともに幅広い教養を身につける。
1年次から専門的な学びが始まる。

実習の概要

人間福祉学コースでは、「ソーシャルワーク実習」「精神保健福祉実習」の2種類の実習があります。

どちらも少人数制で、2段階のステップを踏みながら学びを深めます。そして、本学の卒業生が現場の実習指導者として活躍しており後輩をソーシャルワーカーへと導いてくれます。

科目名	履修条件	学年	実習時間
ソーシャルワーク実習Ⅰ	必修	2年次	実習日数8日間
ソーシャルワーク実習Ⅱ	必修	3年次	実習日数24日間
精神保健福祉実習Ⅰ	選択必修※	3年次	実習日数12日間
精神保健福祉実習Ⅱ	選択必修※	4年次	実習日数8日間

【ソーシャルワーク実習施設の例】

児童養護施設, 児童相談所, 児童発達支援センター
障害者支援施設, 相談支援センター
特別養護老人ホーム, 地域包括支援センター
病院, 社会福祉協議会 など

講義

「障害者福祉」



授業では、障害児者の現状や制度についての学びを踏まえ、事例検討を行います。障害のある本人やご家族に制度等をわかりやすく説明する力を身につけるため、特にプレゼンテーションに力を入れています。
「障害」とは、「生きづらさ」とは何か問いつける姿勢を身につけて欲しいと考えています。

(科目担当教員：米倉裕希子准教授)

実習

「ソーシャルワーク実習Ⅰ」



私は特別養護老人ホームで実習しました。利用者の方と直接コミュニケーションをとったり、相談業務を中心に見学したり他の専門職の話も聞きました。実習を通してコミュニケーションの方法は話さずだけじゃないということ学びました。

(履修学生：4年生・佐々木優菜さん)

卒業研究

「松宮透高ゼミ」



「児童虐待を行った親の持つ被害者性」というテーマを選びました。児童虐待を行った親は「加害者」であると言えます。しかし、その加害者の裏側には、親も「被害者」であった特徴や背景があるのではないかと私は考えています。ゼミでは実際にこども家庭支援センターへ赴き、児童福祉司にインタビューを行いました。

(ゼミ生 (R5年度卒)：宮田唯央里さん)



国家試験に合格するためのサポートはありますか？

校内模擬試験や国家試験対策講座などきめ細やかに支援しています！

社会福祉士になるには国家試験を受験し合格する必要があります。コース教員全員が、授業以外にもさまざまな取り組みをしており、国家試験合格のバックアップをしています。

- ・ 国家試験ガイダンス
- ・ 個別面談
- ・ グループ学習室の運営
- ・ 教員による国家試験対策講座 (通年18回)
- ・ 一問一答テストの配信
- ・ 夏休みの宿題
- ・ 校内模擬試験 (年3回)
- ・ 業者による模試の実施 (2回)
- ・ 国家試験受験後のフォローアップ

R5年度卒業生合格率 (新卒)

社会福祉士 合格率 97.7% (全国76.8%)	精神保健福祉士 合格率 94.7% (全国82.5%)	ダブル合格者 94.7% (19人中18人合格)
---------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

例年全国よりも高い合格率をキープ！